



02
げつようび

レムナントの いやし

イザヤ
58章8節

そのとき、^{あかつき} 暁のよう^{ひかり}にあなたの光^{きず}がさし^{きず}いで、あなたの傷^{きず}はすみやかに^{きず}いやされる。あなたの義^ぎはあなたの前^{まえ}に進^{すす}み、主^{しゅ}の栄光^{えいこう}が、あなた^{きず}のしんがり^{しんがり}となられる。

すべての人^{ひと}は生まれながらにして^う霊^{れい}的^{いてき}問題^{もんだい}を持^もっています。「人^{ひと}が神^{かみ}様^{さま}を離^{はな}れた」という世^よの中^{なか}の根^{こん}本^{ぽん}問題^{もんだい}のためです。それによって、いろいろな^{ろい}のろい^わざわいに苦しむ^{くる}ようになるのですが、多く^{おほ}の人^{ひと}がこの事^じ実^{じつ}を知^しることができません。これが問題^{もんだい}と事件^{じけん}にあったときに、違^{ちが}った解^{かい}釈^{しゃく}をし^してしま^りう理^り由^{ゆう}です。このように違^{ちが}った解^{かい}釈^{しゃく}をくりかえすと、霊^{れい}的^{いてき}問題^{もんだい}はますます大^{おお}きくな^てって、手^てがつけられ^ないほどになります。しかし、レムナントには、この霊^{れい}的^{いてき}問題^{もんだい}をい^{こた}やす答^{こた}えがあります。それが、私^{わたし}の主^{しゅ}人^{じん}であるまこと^{さいし}の祭^{さい}司^し、まこと^{よげん}の預^よ言^{げん}者^{しゃ}、まこと^{おう}の王^{おう}である「イエス・キリスト」です。その御^み名^なで祈^{いの}りながら、与^{あた}えられた勉^{べん}強^{きやう}に最^{さい}善^{ぜん}をつくせば、私^{わたし}の中^{なか}にあるキリストの光^{ひかり}があちこちに伝^{つた}わるでしょう。

もしかして、いま、私^{わたし}には答^{こた}えがないと思^{おも}っていますか。いまは、答^{こた}えを受ける未^み来^{らい}を準^{じゅん}備^びするときです。目^めに見^みえる答^{こた}えはないこともありますが、みことばでいつも神^{かみ}様^{さま}の答^{こた}えを受けています。神^{かみ}様^{さま}のみことばに耳^{みみ}を傾^{かたむ}ければ、問^{もん}題^{だい}と事^じ件^{けん}がきても、だまされなくなりま^す。そして、勝^{しょう}利^りするこ^じとがで^きます。この時^じ代^{だい}をい^いやすレムナントだからです！



かいてみよう

みことばには、い^いやす力^{ちから}があります。みことばの力^{ちから}がど^{おほ}れほど大^{おほ}きいのかを^し知^しらせている聖^{せい}書^{しょ}箇^か所^{しょ}を見^みつけて書^かいて、読^よんで暗^{あん}唱^{しょう}しまし^{こく}ょう。刻^{こく}印^{いん}されるようになるで^しょう。

へブル人^{てがみ}への手^{しやう}紙^{せつ}4章12節

Handwriting practice area with a decorative border of pink hearts and flowers. The text "へブル人への手紙4章12節" is written at the top. Below it are several horizontal lines for writing practice.

きょうの^あでんどう

会^あう人^{ひと}

準^{じゅん}備^びする資^{しり}料^{りょう}

Handwriting practice area with a pink grid background. The text "きょうのでんどう" is written at the top. Below it are several horizontal lines for writing practice.

Handwriting practice area with a pink grid background. The text "準備する資料" is written at the top. Below it are several horizontal lines for writing practice.



きょうの^あみことば



きょうの^あいのり

神^{かみ}様^{さま}、ど^もんな問^{もん}題^{だい}が来^きても、イエス・キリストとい^いう神^{かみ}様^{さま}の契^{けい}約^{やく}を握^{にぎ}って、神^{かみ}様^{さま}がと^あもにお^あられるこ^めとを味^{あじ}わ^めう恵^{めぐ}みをく^いださい。生^なきてお^なられるイエス・キリストのお^な名^な前^{まえ}によ^いってお^い祈^{いの}りしま^す。アーメン



レムナントの サミット

詩篇
78篇72節

彼は、正しい心で彼らを牧し、英知の手で彼らを導いた。

神様が私たちに、救いの次に約束されたことがあります。それは、サミットの祝福です。なにをしても難しく、うまくいかないことばかりですか。だいじょうぶです。神様が、すでに私たちをサミットと呼ばれました。ただし、私たちはサミットの中でも、福音サミットとなることに集中しなければなりません。聖書のレムナント7人（ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、エリシャ、イザヤ、パウロ）も、いちばんはじめに福音サミットに集中しました。そして、福音サミットになって、神様が願われる世界福音化の働きをしていきました。

それなら、いまレムナントである私たちは、どのように始めなければならないのでしょうか。小さなことから福音サミットとして行けばよいのです。これは、だれにでもできます。たとえば、ヨセフは奴隷として行きましたが、神様のみことばを深く考えて、祈りながら、そうじするサミットになりました。ダビデもやはり、羊飼いのときから、さんびをして、詩を作りながら、福音サミットになりました。神様は、どんな状況でも、みことばで私たちとともにおられます。それゆえ、いまの私の困難な状況は、失敗ではありません。福音サミットとして世の中を生かす主役に挑戦しましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、私の力と能力ではなく、神様の力が必要です。契約を握って決断して、福音サミットとなる信仰をください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いろを
ぬろう

ダビデは、単純な仕事ばかりだった羊飼いをしながら、将来、主になる福音サミットを味わいました。羊飼いのダビデに色をぬりながら、福音サミットについて祈りましょう。



きょうのでんどう

あ、ひと
会う人

じゅんび
準備する資料



04

すいようび

ふくいんで はじめましょう。

ローマ
1章 16～17節

私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。「義人は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。

生まれたばかりの赤ちゃんは、本当にかわいいですね。とても純粋で平和なように見える赤ちゃんでも、初めから原罪を持って生まれてきます（創3:1-6）。あるときは、望んでもいないのですが、精神の病気を持って生まれる場合もあります。この原罪は、だれも自分で選択したのではありません。原罪のために、神様を知らずに生まれて成長して、目に見えないサタンの攻撃を受けるしかない身分になりました。このことを解決する方が来られました。その方が、イエス・キリストです。

神様は、イエス・キリストを送ってくださいました。福音であるイエス・キリストがされたことを聞いて、信じることができる恵みを、私にプレゼントとしてくださいました。それゆえ、私に与えられたすべてのこと、出会い、問題の前で、福音で始めるなら、神様が私を霊的サミット（頂上、てっぺん）に立ててくださいましょう。神様がご自分の計画を成し遂げるためにです。どこへ行ってもまず福音で始めましょう。神の国を体験する身分、権威をくださった神様に感謝しながらです。神様が私を通して福音が伝えられる世界福音化の契約を成就されるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、私を福音で始められる子どもになるように導いてくださっていると信じます。毎日、毎日、神の子どもだけが味わうことのできる神の国の祝福を味わうことができるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

産業宣教メッセージ | 2018.1.13



さんびしょう



12 主の愛

作詞：キム・ウンギョン
作曲：イ・スウン

Allegretto ♩ = 120

D B7/D# Em Em7 Em7(b5)/Bb A7 D G/D Asus4 A

主のおおきなあいをみんながしーってほしいな

5 F#m7 B7 Em E/G# Asus4 A7 D Em7 D/F#

じゅうじかでかんりょうしたそのあいを

9 G D/F# Bm7 Em A7 D Em D/F#

はてしないあいつきぬめぐみわたしをつつむかみさま

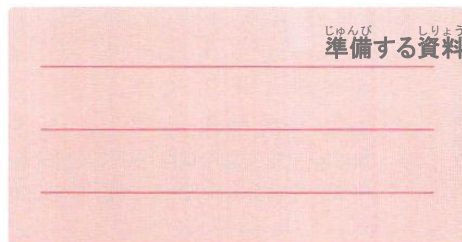
13 G Em D/F# Bm7 A/E E A Em A7

主のみこころわたしにくださーい



きょうのでんどう

あひと
会う人じゅんび
準備する資料



レムナントの ゆうせんじゅんい



わたし ふくいん 私 の福音とイエス・キリストの せんきょう 宣教によって、すなわち、よ 世々にわたってなが
あいだかく い 間隠されていたが、

ローマ
16章 25節

ぜんせかい で、い がく はってん つづ 全世界で、医学は発展し続けて、よい 薬 が発明され、立派なお医者さんもたくさん
で 出て来ています。ところが、不思議なことに、治療できない病気はさらに増えてしま
いました。薬 では完全に治療できない精神問題と、ことばで説明できない霊的問題で苦
しみ 人が増えていきます。神様に会うことができないからです。しかし、ふくいん 福音であるイエ
ス・キリストに会えば神様に会うことができます。それゆえ、聖書のレムナント 7人
(ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、エリシャ、イザヤ、パウロ)は「ただ福音！」
とだけ叫びながら、神様がくださったことを、堂々とやり遂げました。そのようにでき
た理由があります。ただ福音を最高のものとして、いちばんにして、そのなかで神様が
くださる 力で世の中を生かす霊的サミットになったからです。

神様は 私 たちを全世界の人の病気と霊的問題をいやす未来の証人として呼ばれまし
た。いまは優先順位を変えましょう。神様が、福音の 力、みことばの成就、祈りの答
えを体験させてくださり、すべての問題がいやされることを味わう霊的サミットの
証人になるようにしてくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

かみさま れいでき 神様、霊的サミットとなることを優先するようにさせてくださり、現場をい
やす証人とならせてください。生きておられるイエス・キリストのお名前
によってお祈りします。アーメン



いつも インマヌエル

創世記

39章 21～23節

しかし、主はヨセフとともにおられ、彼に恵みを施し、監獄の長の心にかなうようにされた。それで監獄の長は、その監獄にいるすべての囚人をヨセフの手にゆだねた。ヨセフはそこでなされるすべてのことを管理するようになった。監獄の長は、ヨセフの手に任せたことについては何も干渉しなかった。それは主が彼とともにおられ、彼が何をしても、主がそれを成功させてくださったからである。

ある日、ヨセフは監獄に行くことになりました。くやしいことに、濡れ衣を着せられたのですが、汚名をそそごうと努力したり、落胆して悲しみに陥ったりしませんでした。奴隷として売られた時のように「いま神様が私とともにおられる！」というインマヌエルの祝福を、深く考えながらずっと神様に祈りました。それゆえ、神様がくださる霊的な力を十分に備えることができたのです。人々は、ヨセフが監獄に閉じ込められたと見たのですが、神様は監獄を生かすために神様の計画をもってヨセフを送られたのでした。ヨセフは、どこへ行っても、そこを生かすために必要な人でした。このようなヨセフを通して、神様はエジプトの王様を生かして、その時代を生かされました。

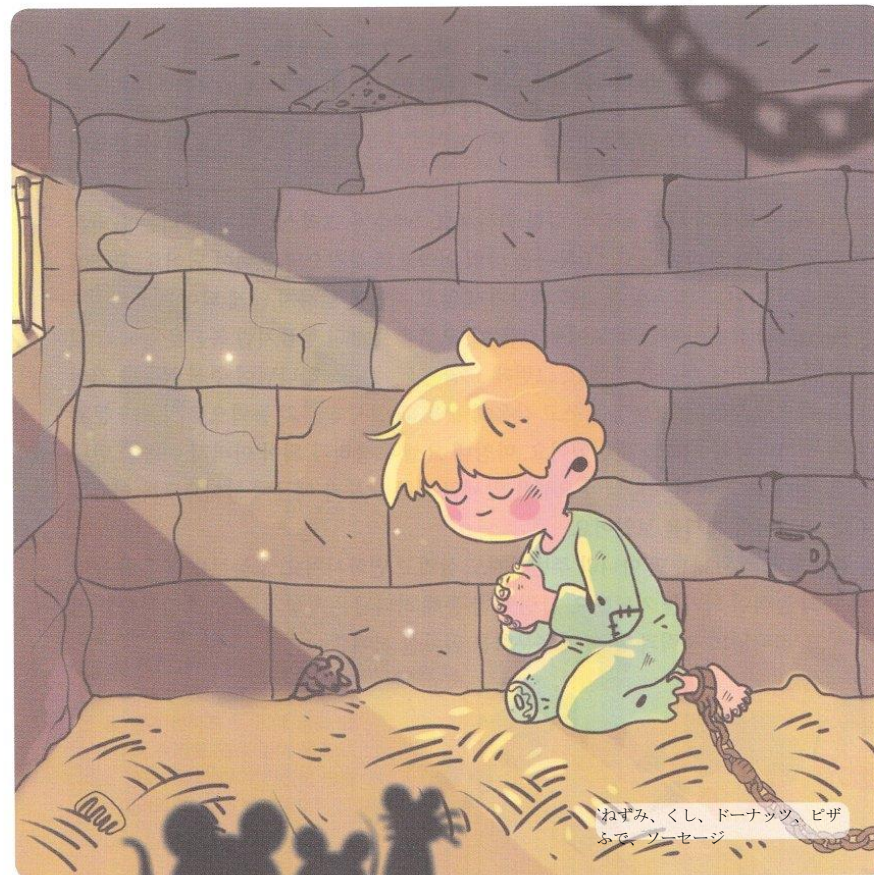
いまこの時間、私とともにおられる神様がくださるみことばを深く考えましょう。そのとき、みことばが刻印されて、インマヌエルの祝福を味わうようになるでしょう。そうすれば、ヨセフのように、私が生かされて、そのみことばが私を通して現場に成されます。この事実を信じながら私の家庭、学校を考えましょう。ヨセフのように、私がいるすべての所は、インマヌエルの祝福を味わって、神様の計画が成就する所なのです。

きょうのみことば



えをさがそう

監獄の中でも、インマヌエルを味わっていたヨセフがいます。私とともにおられる神様を考えながら、隠れている絵を7つ見つけましょう。



ねずみ、くし、ドーナッツ、ピザ
ふで、ソーセージ

きょうのでんどう

会う人

準備する資料



きょうのいのり

神様、どんなことがあっても、変わることなく、インマヌエルの神様がくださった契約を信じる信仰の中にあることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



07

どうぶ

ふくいんが わたしの ちからと なるとき

創世記
46章 28～29節

さて、ヤコブはユダを先にヨセフのところに遣わしてゴシェンへの道を示させた。それから彼らはゴシェンの地に行った。ヨセフは車を整え、父イスラエルを迎えるためにゴシェンへ上った。そして父に会うなり、父の首に抱きつき、その首にすがって泣き続けた。

神様は福音が私の力になることを願っておられます。「イエスがキリストだ」という正しい福音をじっくりと気をつけながら聞いて、その福音を私の契約として握れば、私の力になります。それでこそ、福音でない他の偶像に私を奪われることや、わざわざいふことがなくなります。

レムナントのヨセフが奴隷としてエジプトに行ったとき、ヨセフを売った兄たちのように、ヨセフが福音をのがしていたなら、大きな絶望に陥ったでしょう。ところが、ヨセフは違いました。神様がくださった福音を自分の力として味わいました。濡れ衣を着せられて監獄に行ったときも、やはり、福音の力で状況と問題の中にある神様の計画を発見しました。ついに、ヨセフは総理になって、父ヤコブに会いました。そのとき、家族みんなが、ヨセフはまえてもって神様によって送られて、家族みんながエジプトに入るために神様が導かれたという神様の計画を見ました。

福音の力は、私だけでなく、まわりまでも生かして、変化させることができます。今日から、福音の力が私の力になることを祈りましょう。そのような私を通して、神様は無能と偶像、暗やみの文化を防いで、神様の力とみことば、福音文化を広げていかれるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、神様の力である福音の力が私の力になるように祈ります。神様の計画が私の計画になるように、福音を聞いて、契約として握るように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

たいりよくを
つけよう

福音の力が私の力になるとき、絶対に必要なのは体力です。福音の力を積み上げていくことができるように、私の体力を点検して、体力をつけましょう。



01 うでのばし

ひざまずいてすわり、こしをゆっくりと下におろして両手を前にいっぱい伸ばして遠くを見ます。10秒間とまって、少し休みます。10回くりかえします。背中をまっすぐにのばす姿勢です。背中がしっかりとぴて、気持ちよくなるでしょう。

02 こしを持ち上げ

天井を見上げて、横になります。ひざを肩幅に広げて立てます。手を体の横に広げて置いたあとに息を吸って、こしを上を持ち上げます。10秒くらい、その姿勢を保ちます。静かに息をしながら、おろします。10回くりかえします。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料